

県民あんしん共同太陽光発電事業 設置施設 担当者の声

地域にも地球環境にも
貢献したいという強い想いで

社会福祉法人 福潤の会
レイズアップ（障害者就労支援施設）
行田市
太陽光発電設備等の設置 2021年10月



Q 施設の概要を教えてください。

A 当施設は、2009年に開設し、今年で13年目となります。事業の体形は就労移行と生活訓練と就労継続支援B型の3部門からなり、40名の方への支援活動を行っています。

Q 県民あんしん共同太陽光発電事業に応募したきっかけを教えてください。

A 地球温暖化防止対策の一助として、かねてより、太陽光発電機器の導入を考えていましたが、恥ずかしながら資金難で、民間業者からの誘いがあっても断念していました。県の補助事業があることを知り、願ってもないチャンスであり、喜び勇んで応募させていただきました。



伊藤寿子 施設長 伊藤泰成 理事長

Q これから太陽光発電設備と蓄電池をどのように活用されていきますか。

A 施設での平時の自家消費と災害時の蓄電池活用に併せて、地域の自治会へ災害対策を提案させていただきました。災害による停電時には自治会役員の方への携帯電話の充電などに供して、地域住民の方の保安や救援活動に役立ててもらいます。

Q 自然環境に親しむために、日頃どのような活動をしていますか。

A 今、3R活動が提唱されています。利用者に「もったいない」の思いを抱かせて、自分で何が出来るか考えてもらい、どんなことでも良いので施設内でやってもらっています。それを家に帰ってからも行うようお願いしています。また、苗木を育てて自治会の方々にお配りする取組も始めています。

Q 災害時の対応に不安はありませんか。

A 災害が生じた場合、施設が開所している日中であれば「共生のお互い様」の思いで、職員と利用者全員が救援活動に取り組み、皆の笑顔をもって、周りの人々を元気づけていきたいと考えています。夜間や休日は不在ですが、職員が駆けつけて対応します。蓄電池は充電用と事務所の照明用に充てられているので、地域の自治会の方には事務所の明かりを目印として、明かりがついている限り対応可能とお伝えしています。



太陽光パネル（補助対象設備）



蓄電池（補助対象設備）



発電モニタ（補助対象設備）